



さくわん



苅田中学校付近

朝の声かけ運動

苅田町青少年育成町民会議だより

10月17日と24日「いじめ防止強調月間」の一環として児童・生徒の登校時間に朝の声かけ運動を実施しました。登校してくる子どもたちから、とても大きな声で「おはようございます」と言われ、あわてて返す場面もあり…、とても心地よい一日の始まりでした。



苅田小学校付近



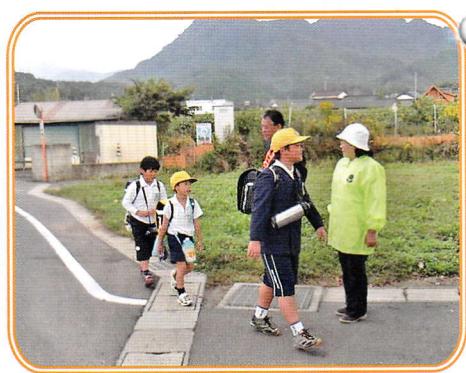
白川小学校付近



新津中学校校門



片島小学校付近



「大人が変われば、子どもも変わる」
まず、大人ができるところからはじめましょう。

苅田町青少年育成町民会議設立20周年記念事業開催

オール1の落ちこぼれ、教師になる。～いじめ、挫折、天涯孤独の絶望から夢を実現するまで～

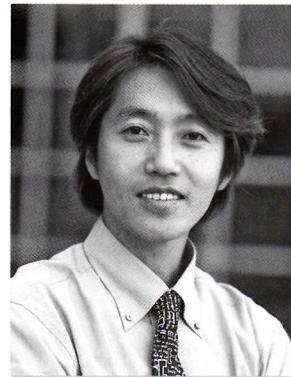
宮本延春 氏〔高校教諭〕－講演会－

各種メディアの出演や、日本各地での講演を通して、生徒に夢と希望と感動を与え続けている、宮本延春先生の講演会を開催いたします。

平成21年
1月31日(土)

- 会 場／苅田町立中央公民館
- 受 付／13:00～
- 入場料／無料

※詳細については、苅田町の広報にてお知らせいたします。



(撮影:井上孝明氏)

■プロフィール

宮本延春 Masaharu Miyamoto

1969年愛知県生まれ。

いじめが原因で学校嫌いになり、中学1年の成績はオール1。23歳の時、偶然見たインシュタインのビデオに衝撃を受け、名古屋大学に進学し物理学を学ぶ。現在は、母校 豊川高校の教壇に立ち、数学教師として活躍している。

主な著書に

『逆境力』『キミのためにできること』

『未来のきみが待つ場所へ 先生は

いじめられっ子だった』

『オール1の落ちこぼれ、教師になる』



“話せばわかるとは限らないが、
話さなければもつとわからぬ。”

朗報

当町民会議の委員で、すこやか編集委員でもある三浦豊先生（現 苅田中学校教諭）が執筆した編集後記（平成19年11月25日号）ですが、遠く海を渡り、USAオレゴン大学応用言語学センターにて、テスト問題の資料に引用されることになりました。

秋になつても真夏のような暑い日々が続きました。これは人類のCO₂などの温暖化ガスの排出が原因で地球の気温が上昇している地球温暖化のためだと言われています。そしてこの地球温暖化は、じわりとしかし確実に進行しているようです。

地球温暖化は海面上昇や北極海をおおう氷の面積の減少、氷河の減退また農作物の収穫量や漁獲量の減少など地球規模の環境の変化を引き起こす原因となっています。しかし現在の我々の生活に深刻な影響は出ていません。気がつこうとしなければ今起つてはいる現実を理解することはできません。

地球温暖化は子どもたちの未来に暗い影を落とします。子どもたちのために私たちができるすることは身近な生活を見直すことではないでしょうか。例えば電灯や家電製品などのスイッチをこまめに切る。エアコンの温度設定を少し変える。自動車の利用を控える。など現在の便利な生活を少し我慢してエネルギーの浪費をおさえCO₂などの温暖化ガスの排出を減少させるのです。そして未来の子どもたちのために私たち大人が協力して「環境」と言う財産を残しましょう。三浦 豊

一みんなで 育てよう 青少年

公布の日から1年内に施行

最近における、道路交通をめぐる情勢に対応して、交通事故の防止その他交通の安全と円滑を図るため、平成19年6月20日に道路交通法が改正されました。

主な諸対策として

- ・被害者軽減対策
- ・高齢者運転者対策等
- ・悪質・危険運転者対策
- ・自転車利用者対策

を推進しています。

苅田町の将来を担う子どもたちが希望を持って、伸び伸びと元気で暮らせるよう、町民の皆様方と見守り、健全に成長するよう、声かけをしていきましょう。

自転車利用者対策

1

普通自転車の歩道通行可能要件の明確化

10条、63条の4

普通自転車

歩行者

道路標識等で指定された場合

運転者が児童、幼児の場合

車道又は交通の状況からみてやむを得ない場合

歩道通行が可能

「普通自転車通行指定部分」ができるだけ避けて通行する努力義務



2

乗車用ヘルメット着用努力義務の導入

63条の10

児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児を自転車に乗車させるとときは、乗車用ヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。



3

地域交通安全活動推進委員の活動内容の見直し

108条の29

地域交通安全活動推進委員の活動に、「自転車の適正な通行の方法について住民の理解を深めるための運動の推進」が加えられ、自転車の通行ルールに関する広報啓発や街頭活動が活性化されます。

監修 警察庁交通局

補導環境部会視察研修報告

苅田町青少年育成町民会議補導環境部会(原田雄幸部会長)は、11月7日「熊本刑務所」を訪れ、施設紹介ビデオを視聴の後、同所担当者より施設の特徴や収容状況等の説明を受けました。毎年、刑事施設を中心に研修を行っていますが、施設の見学は本より、刑務官からのお話や質問等に重きを置くように心掛けています。

熊本刑務所は明治5年に旧細川藩の屋敷跡を利用し、現在の熊本市手取本町に熊本監獄として設置され、明治10年の「西南の役」により焼失、現在地の熊本市渡鹿に移転、大正10年に竣工・開庁されています。翌、大正11年には熊本刑務所と改称され、太平洋戦争末期に空襲により大きな被害を受けたことから、昭和51年までの長い年月をかけて復旧・改築工事が行われました。

熊本刑務所は収容定員638人、九州・中国地域を対象に無期懲役形を含めた刑期8年以上の犯罪傾向の進んだ受刑者を収容する施設で、殺人、傷害致死、強盗等の重大犯罪に関する者が多く収容されています。特に、暴力団関係者が大半を占め、刑務所内の規律維持のた

め大変気を使っているとのことでした。

会議室での説明の後、刑務官に前後を挟まれ、縫製や印刷の作業場を見学しました。特に、熊本ならではの「肥後象がん」の工場では緻密な細工に一心に取り組んでいる姿が大変印象的でした。

今回、今までになかった施設として、舎房前の通路に設置されている「投書箱」について、立ち止まって説明がありました。これは平成18年5月に施行された「刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律」に基づき、受刑者が刑事施設の運営に関し意見を投書するもので、投書があると外部委員で組織された「熊本刑務所視察委員会」で面接や視察が行われます。このことで、刑事施設の運営の透明性が確保され、処遇の改善が図られることになりますが、刑事施設の運営も世の中の



動きと無縁ではないとの印象を持ち、有意義に研修を終了することができました。

行橋警察署少年補導員
金丸晴樹

※不審者・変質者の出没について※

4月に入ってから10月末までに23件(昨年度同時期10件)の不審者・変質者が出没しています。子どもたちが被害に遭う前に防ぎたいものです。

【出没状況】

下校中の男子児童1名が、苅田小学校正門付近において「お母さんが交通事故で入院したから、一緒に帰ろう」と声をかけられた。

なお警察には、通報済みである。

《不審者の特徴》

- ◎30~40歳代の男
- ◎茶帽子、サングラス
- ◎黒ジーパン、黒ジャンバー



第8回 子どもフェスティバル

2008.10.26. 大盛況の下、無事終了することができました。

たくさんの子どもたちの笑顔に会いました。多くの方々のご支援をいただき、ありがとうございました。

カメラズケッチより



苅田町青少年育成町民会議では、昨年に引き続き、「木工工作教室」を開催しました。

場内のあちらこちらでは、いろいろな工夫が飛び交っていました。

出来上がった作品は、愛着もひとしお。皆さん大事そうに持ち帰っていました。

せちつき大会

おいしくなあれと呪文をかけて…。



まるっと農園

精魂込めて作つたお米を販売しました。



開会式

くすだま割は大成功!!



エコロジー

ペットボトルは活用の幅が広いです。



手づくり山笠

作った人達の熱意が伝わります。



バア～バアの一言 No.8



11月は霜月。紅葉のきれいな季節です。山々を見渡せば、赤や黄と色とりどりにお化粧していきます。山道を歩けば、足元にどんぐりなどのいろいろな実がころがっています。

2年前、5歳の孫を連れて、どんぐりを拾いに行きました。孫は、足元に落ちているどんぐりには、自然と目が向きますが、木の枝に群がるどんぐりには、目がいきません。どうも、孫の様子から同じ物だと思っていない様です。確かに“どんぐり”的ことは、知っています。絵本やテレビなどからいろいろな情報を習得することはできます。でも、実際大切なのは、自分の目で見て、手でふれることではないかと思います。

今から山歩きには、絶好の季節です。子どもたちと小さな発見の旅に出かけてみてはいかがですか。

「♪見いつけたあ～ ちいちゃい秋！見いつけたあ～」…
てねッ！

英彦山キャンプ

日時 2008. 8/7,8,9,10,11



山頂(1,200m.)を目指し、全員登頂しました。山道は、険しく苦しかつたですが、登れば、バンザイ(^o^)ノ気分爽快！



テントのグループが決まり、新しい友だちで、生活を迎えることになりました。みんな「やつたるゼエー」の誓い新たに…。



生活してきた友だちとのお別れが…。友情を誓い合い、キャンプファイアを囲み、「また会おうね」と語り合いました。

芋ほりをしました!

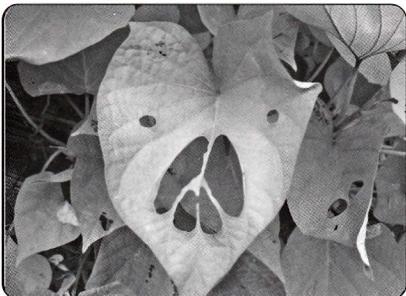
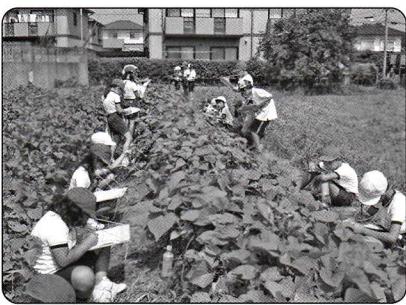


農
園

苅田小学校の二年生と三年生は、六月に地域の方の休耕田を借り受け、町の特産品であるムラサキイモの苗を植え付けました。九月には、草取りや観察などを行い十月になつて自分たちで植えたムラサキイモの収穫（芋ほり）をすることができました。芋ほりの際には、イモのつるをみると土が見え、さらにイモがどれ始める「とつたぞー」「これはわたしのおいも！」と歓声が上がりました。

これは町の特産品や産業などについての生活科の学習と、食の大切さや安全性を学ぶ「食育」の授業の一環として行われました。

「食育」については、無農薬のムラサキイモから作られているお菓子について調べたり、栄養士さんに小学校へ来てもらい栄養についてのお話をしでもらつたりしました。



今日は、イモほりに行きました。いろいろな形のイモがありました。雪だるまの形のイモがありました。友だちとわたしでそのイモに名前をつけました。一人の友だちが「雪だるまみたいだから、イモだるまにしようよ。」って言いました。イモがいっぱいとれました。大きいのもありました。楽しかったです。

先生あのね、今日のイモほりは、とても楽しかったです。みんなと交代でスコップや手で土を掘つたら、イモがいっぱい出てきて「うわーこうなつてんんだー」と見ておどろきました。小さいときにおばあちゃんといっしょにいもほりをしたときのことを思い出しました。本当にたのしかつたです。



児童の感想



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

平成20年度 荏田町「家庭の日」「オアシス運動」コンクール入賞作品発表

この度は、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。応募作品759点の中から入賞作品108点が決まりましたので、ご報告させていただきます。(敬称略、順不同)
紙面の都合により作文は、次号に掲載いたします。



南原小6年 末松万由子



南原小1年 穴見真菜



南原小6年 嶋田有理奈



苅田小5年 中野祐希



南原小6年 尾本帆奈美

●ポスター・標語の部

- あいさつで 友達作り 第一步
- おはようは 今日の元気の バロメーター
- あいさつを 交わして笑顔 友達に
- あいさつは ことばのえがお だれにでも
- ありがとう かんしゃのきもち こころから
- ありがとう 一言だけど うれしいな
- おはようは こころの中の 朝ごはん
- さりげない あいさつの中に 「ありがとう」
- あいさつで つなごうみんなの 心のわ
- あいさつは 優しさくれる おくりもの
- おはようと 言えば心も 晴れもよう
- ありがとう その一言に ありがとう
- あいさつは こころをつなぐ にじのはし
- 「こんにちは」 自然と笑顔が 出てくるよ
- あいさつを 家の中でも 日常化
- 言ってみよう 大きな声で ありがとう

- | | |
|-------|--------|
| 馬場小6年 | 河本 雄太 |
| 南原小6年 | 宮本 凌輔 |
| 苅田小6年 | 宮崎 麻由 |
| 馬場小4年 | 池田 大将 |
| 南原小6年 | 宮本 祐也 |
| 新津中1年 | 有門 実代 |
| 新津中2年 | 大松 瑞希 |
| 新津中3年 | 金本 遼太郎 |
| 新津中2年 | 有久 祐奈 |
| 新津中1年 | 鬼木 優花 |
| 新津中2年 | 倉地 玲那 |
| 新津中1年 | 松下 小奈津 |
| 新津中3年 | 清水 麻央 |
| 新津中2年 | 麦田 康敬 |
| 新津中2年 | 増田 順沙 |



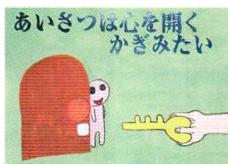
南原小4年
堀 希愛子



苅田中2年
松本菜々



新津中2年 西本晴菜



苅田中1年 平川沙耶



苅田中2年 栗林美菜子



新津中1年 中島桃子



新津中2年 藤井脩平



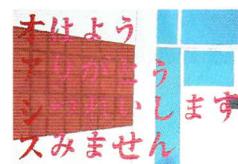
苅田中1年 本河直樹



苅田中1年 田中愛



苅田中1年 内藤佑美子



苅田中2年 堀本昇平

↓審査風景



毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

書道の部

1年生	馬場小	与原小	馬場小	南原小	与原小	与原小	片島小	馬場小	南原小	与原小
木原 康平	宮本 姫奈	久保田茜音	片山 鈴音	一瀬 麻帆	日高 陽菜	松本 天音	池田 陽香	菊池 美咲	石丸 陽菜	
与原小	与原小	南原小	苅田小	苅田小	苅田小	南原小	苅田小	片島小	与原小	
高橋 翼	上原 繼	板谷 真帆	工藤 朱華	大水 康椰	中山 七海	田中 智也	富安祐里子	緒方 郁磨	太田萌絵子	
与原小	苅田小	与原小	与原小	馬場小	苅田小	南原小	馬場小	馬場小	白川小	
木下 萌梨	高柳 咲希	土屋遼太郎	山本 龍勢	大津佳乃香	井本あかり	福山りな	川崎 歩	吉瀬 礼菜	神田 洋輔	
苅田小	与原小	馬場小	南原小	南原小	与原小	苅田小	馬場小	南原小	苅田小	
宮崎 大志	中鶴 将也	村川 直希	原 臣人	塙川 広大	中村 円香	江副 天勇	菊原 韶子	荻本 大輔	西村 摩香	
苅田小	与原小	苅田小	与原小	苅田小	与原小	苅田小	苅田小	白川小	馬場小	
植野 聖也	瀬口 和也	江口沙也加	大松 和暉	高住 結花	瀬川 真緒	陣出 亮平	小林 怜奈	井本 美優	小森 真央	
苅田小	南原小	苅田小	苅田小	馬場小	与原小	馬場小	苅田小	南原小	白川小	
牧 夢人	上田 桃子	川田 楓	古庄 美菜実	白石 侑華	竹浪 春夏	上田 千尋	湯野沙也香	長川 家久	出口 杏奈	
苅田中1年	苅田中3年	苅田中2年	苅田中3年	苅田中2年	苅田中2年	苅田中3年	苅田中2年	苅田中1年	苅田中2年	
千代丸彩夏	廣瀬 理子	佐野奈々子	大津 美歩	川田 唯	大塚 仁美	河津 彩香	野呂 碧	江渕麻衣子	波野佳緒里	

編集・発行

荏田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会

☎・FAX 093・434・9838